

平成30年度宮崎大学工学部特別講演

武田光夫 先生

電気通信大学名誉教授

宇都宮大学オプティクス教育研究センター客員教授

情報系学生のための情報光学入門 ～光科学と情報科学のシナジーをめざして～

日時： 2018年7月13日（金） 14:50 ～ 16:20

会場： 工学部 B棟 101 講義室

講演概要：（世話人より）本年度は、Dennis Gabor 賞や Humboldt Research 賞など、著名な科学者の名前がついた賞をいくつか受賞されている武田光夫先生にご講演をお願いしました。Gabor は、ホログラフィーの発明で1971年にノーベル賞を受賞した Gabor です。フンボルトは、1769年生まれで、ウィキペディアでは、博物学者兼探検家、地理学者、と紹介されています。これらの賞は、武田先生の干渉縞分析、コヒーレンスホログラフィ、三次元形状測定法の産業応用に関する発明などが評価されたということです。今回、光の予備知識がほとんどない我々に対して、難しい話を易しく説明する、ということに挑戦されます。

講師略歴： 1946年生まれ。1969年 電気通信大学電波工学科卒。1974年 東京大学大学院工学系研究科 物理工学専門課程 博士課程修了、日本学術振興会特別研究員（東京大学 生産技術研究所）。1975年 キヤノン株式会社入社（中央研究所・光学部）。1977年 電気通信大学講師。1980年 同大学助教授。1990年 同大学教授。2012年 同大学名誉教授、宇都宮大学オプティクス教育研究センター特任教授（～2017年まで）。2007年～2009年 SPIE (International Society for Optics and Photonics, 国際光工学会) 理事。2010年～2012年 日本光学会幹事長。2015年～2017年 国際光技術検定協会理事長。1999年 SPIE Fellow, 2007年 OSA(The Optical Society, アメリカ光学会) Fellow, 2007年 応用物理学会フェロー。2010年 SPIE Dennis Gabor Award, 2012年 応用物理学会光・量子エレクトロニクス業績賞（宅間宏賞）、2013年 Alexander von Humboldt Foundation (Germany) Humboldt Research Award, 2017年 SPIE Chandra S. Vikram Award などを受賞。2018年 西安工業大学名誉教授。1982年に Journal of the Optical Society of America 誌に出版された論文「Takeda, M, Ina, H., and Kobayashi, S. 1982. Fourier-transform method of fringe-pattern analysis for computer-based topography and interferometry, *J. Opt. Soc. Am.*, vol.72, pp.156-160」が同誌100年の歴史における論文引用数 Top 100 において第1位（2114回）。ご専門は情報光学、光応用計測、統計光学、結像理論など。

主催： 宮崎大学 工学部

本件問合せ先： 伊達 章（情報システム工学科, A-333）. date@cs.miyazaki-u.ac.jp